

報道関係者各位

2026 年 7 月 23 日

丸文株式会社

労働力不足やインフラ老朽化の解決へ。丸文、DEEP Robotics と MOU 締結 ～過酷な環境にも耐える四足歩行ロボットを展開。日本市場に最適な用途の共同開発を推進～

エレクトロニクス商社の丸文株式会社（代表取締役社長 兼 CEO：堀越裕史、本社：東京都中央区、以下、丸文）は、四足歩行ロボット分野のグローバルリーディングカンパニーである DEEP Robotics（ディープロボティクス、以下、DEEP Robotics 社）と、日本市場における同社製ロボットの販売拡大および協業に向けた基本合意書（MOU）を締結したことをお知らせいたします。



MOU 調印式。（左）DEEP Robotics 社 Director of Northeast Asia 李昌波氏、（右）丸文 デイオネカンパニー長 樋口

【背景と目的】

近年、日本の産業界は、少子高齢化に伴う深刻な労働力不足やインフラ設備の老朽化対策、そして災害現場などの危険環境下における作業の安全確保という深刻な課題に直面しています。そこで、これら一連の課題を解決する切り札として、自律的に稼働し、複雑な地形や人の立ち入りが困難なエリアで作業を代替できる四足歩行ロボットの社会実装に大きな期待が寄せられています。

このような環境のもと、当社は、独自の AI アルゴリズムと優れた運動制御技術を駆使し、すでに世界各国の電力、建設、消防・救助など多様な現場での豊富な導入実績を持つ DEEP Robotics 社と MOU を締結いたしました。

【DEEP Robotics 社製ロボットの主な特長】

同社の四足歩行ロボットは、高度な運動制御と AI 技術による以下の特長を備え、従来のロボットでは困難であった過酷な産業現場での自動化・無人化を可能にします。

高度な悪路走破性	階段、段差、瓦礫などの複雑な地形や悪天候下で、独自の制御技術によって極めて安定した歩行・走行が可能
自律ナビゲーションと AI 機能	LiDAR や各種センサーを搭載し、自律的な環境認識、障害物回避、最適なルート計画を実現。人の手を介さずに自律的な巡回点検が可能
高い拡張性	高解像度カメラ、赤外線サーモグラフィ、ガス検知器、ロボットアームなど、お客様の用途や現場の課題に応じた多様なモジュールを搭載可能
堅牢性と防塵・防水性能	過酷な産業用途や屋外での使用に耐えうる高い耐久性と、IP67 クラスに相当する優れた防塵・防水設計



過酷な環境でも使用可能な DEEP Robotics 社「LYNX S10」

DEEP Robotics 社製品の詳細は、当社 Web サイトでも紹介しております。詳細は以下よりご覧ください。

- ・全地形対応四足歩行ロボット「LYNX M20S」 : <https://www.marubun.co.jp/products/86761/>
- ・小型・高機動四足歩行ロボット「LYNX S10」 : <https://www.marubun.co.jp/products/86764/>

【今後の展開について】

当社は長年にわたり、国内外の最先端エレクトロニクス製品やシステムの日本市場への提供を通じて、幅広い業界のお客様との強固なネットワークを構築し、高度な技術サポート力を培ってまいりました。

この度の MOU 締結により、当社の持つ広範な顧客基盤および技術サポート体制と、DEEP Robotics 社の最先端ロボティクス技術を融合します。両社は強力なパートナーシップのもと、日本国内のお客様のニーズに合わせた最適なロボットソリューションの提供を加速するとともに、新たなアプリケーションの共同開発を推進してまいります。

【両社代表からのコメント】

●DEEP Robotics CEO 朱秋国（Zhu Qiuguo）氏

日本のテクノロジー市場において確固たる実績と信頼を持つ丸文株式会社と、強力なパートナーシップを結ぶことができ光栄に思います。日本の産業現場では、非常に高い品質と安全基準が求められます。丸文株式会社の深い市場理解と充実したサポート体制は、当社のロボットソリューションを日本国内で広く展開する上で欠かせないものです。両社が強みを持ち寄ること

で、日本の多様な現場の課題解決に大きく貢献できると確信しています。

●丸文株式会社 取締役 藤野聡

この度、四足歩行ロボットの世界的リーダーである DEEP Robotics 社と MOU を締結し、新たな協業をスタートできることを大変嬉しく思います。現在、日本が直面している深刻な労働力不足やインフラ老朽化といった社会課題に対し、同社の高度な AI と自律制御技術を備えたロボットは、極めて有効な解決策となります。丸文が長年培ってきた技術サポート力と幅広い顧客ネットワークを最大限に活かし、DEEP Robotics 社とともに日本の産業界へ新たな価値と安全性を提供してまいります。

<DEEP Robotics（雲深处科技）について>

会 社 名 : DEEP Robotics（雲深处科技）
本 社 : 中国 浙江省杭州市西湖区
設 立 : 2017 年
代 表 者 : CEO 朱秋国（Zhu Qiuguo）
事業内容 : 高性能な産業用四足歩行・人型ロボットの研究開発およびソリューション提供。
U R L : <https://www.deepprobotics.cn/en>

DEEP Robotics**<丸文株式会社について>**

本 社 : 東京都中央区日本橋大伝馬町 8-1
設 立 : 1947 年
代 表 者 : 代表取締役社長 兼 最高経営責任者（CEO）堀越裕史
従 業 員 : 1,193 名（連結：2026 年 3 月 31 日現在）
資 本 金 : 62 億 1,450 万円
売 上 高 : 2,134 億円（2025 年度連結）
事業内容 : 半導体や電子部品、システム機器などの国内外の先端エレクトロニクス製品を販売する商社。
東京証券取引所プライム市場に上場。（コード：7537）
U R L : www.marubun.co.jp/

DEEP Robotics 社に関するお問い合わせ先
丸文株式会社 ディオネカンパニー 担当：工藤
TEL：03-3639-9650 FAX：03-5643-0354
E-mail：dione_mkt@marubun.co.jp

このニュースリリースに関するお問い合わせ先
丸文株式会社 経営企画部 担当：酒井・熊谷
TEL：03-3639-3010 FAX：03-5644-7693
E-mail: koho@marubun.co.jp